

実績評価書

平成18年7月

政策体系	番号	
基本目標	5	労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境を整備すること
施策目標	2	労働力需給の動向に対応した職業能力開発を展開すること
	III	ホワイトカラーの職業能力開発を促進すること
担当部局・課	主管部局・課	職業能力開発局能力開発課
	関係部局・課	職業能力開発局能力評価課

1. 施策目標に関する実績の状況

実績目標1	生涯職業能力開発促進センターにおいてホワイトカラーに係る先端的な職業訓練コースの開発・展開を図ること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
ホワイトカラーの職業能力開発に関する中核的な拠点である生涯職業能力開発促進センター（通称：アビリティガーデン）において、先端的な職業訓練コースの開発・展開に資する情報の集積と産業界の課題に対応した実践的な教育訓練コース等の研究開発を実施するとともに、先導的、モデル的教育訓練コースを実施する。					
(評価指標の考え方)					
ホワイトカラーに係る先端的な職業訓練コースの開発数及び開発コースの実施数を計上している。					
(評価指標)	H13	H14	H15	H16	H17
新たな訓練コースの開発・展開数 (コース)	130	125	124	109	115
(備考)					
・独立行政法人雇用・能力開発機構調べ。					
実績目標2	職業能力習得制度（ビジネス・キャリア制度）を通して、ホワイトカラーの専門的知識の段階的、体系的な知識の習得を推進すること				
(実績目標を達成するための手段の概要)					
ホワイトカラー労働者が職務を遂行するに当たって必要な専門的知識を段階的、体系的に習得できるよう、ホワイトカラーの職務を人事労務等10分野、162単位に区分し体系化している。					
各単位毎に学習すべき内容については、講座の認定基準として公表し、当該基準に適合する教育訓練を厚生労働大臣が認定する。					
また、各単位毎に専門的知識の習得状況を確認するための修了認定試験を実施する。					
○関連する経費					

・生涯職業能力開発助成事業費（平成17年度予算額） 572百万円 （評価指標の考え方） 認定講座修了者及び認定試験合格者数の把握により、制度の有効性等の指標とする。					
（評価指標）	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
職業能力習得制度認定講座受講者数(人)	57, 853	52, 837	47, 686	45, 126	集計中
職業能力習得制度修了認定試験合格者数(人)	12, 086	13, 387	12, 495	10, 709	12, 701
（備 考） ・中央職業能力開発協会調べ。					

2. 評 価

(1) 現状分析

現状分析
<p>日本の企業の競争力の源泉は、人材としての労働者個々人の能力であるが、産業構造の転換や労働移動の増大など、労働市場の構造的な変化等に伴い、社会から求められるホワイトカラー労働者の職業能力は多様化、高度化し、専門的になっている。</p> <p>このような状況に対応し、ホワイトカラー労働者の職業能力の向上及び段階的かつ体系的な職業能力習得の支援とその能力の適正な評価が求められている。</p>

(2) 評価結果

政策手段の有効性の評価
<p>実績目標 1 について</p> <p>訓練コースの開発に当たっては、開発分野に係る民間の業界等が現在抱えている能力開発に関する課題・ニーズを顕在化し、これに対応するため、民間の業界や企業等では対応が困難な先導的な訓練コースを開発しており、平成17年度では、通信販売業、警備業等、計26の訓練コースの開発を行った。その成果に基づいて各業界の課題・ニーズに対応した先導的な職業訓練を実施し、検証された後、全国の民間企業に普及している。</p>
<p>実績目標 2 について</p> <p>本制度により、労働者は、①自発的な職業能力開発を図ることができる、②試験の合格により、知識の習得を公的に証明し、自分の能力を客観的に示すことができる、等のメリットがあり、企業は、①適切な人材開発の実施や人材配置の要件として活用できる、②従業員等の職業能力を客観的に評価する材料とすることができる、等のメリットがある。</p> <p>本制度の平成16年度の認定講座受講者数は45,126人(平成17年度に関しては現在集計中)、平成17年度の認定試験受験者数は12,701人となっており、ホワイトカラーの専門的知識の段階的、体系的な知識の習得を推進するに当たって有効な制度である。</p> <p>さらに、利用者（試験受験者）を対象としたアンケート結果によると80.9%の利用</p>

者から、「能力開発が図られ成果があった」との評価を受けている。

政策手段の効率性の評価

実績目標 1 について

本事業については、事業主団体等と連携を図りつつ、生涯職業能力開発促進センターにおいて民間の業界や企業等では対応が困難な先導的な訓練コースの開発を生涯職業能力開発促進センターにおいてから、開発コースの試行実施とその効果検証、検証したコースの普及、改良点発見等のための継続実施まで一体的に実施していることから効率的な事業運営となっている。

実績目標 2 について

ホワイトカラー労働者への教育訓練コースの提供については、民間教育訓練機関等を活用しており、ホワイトカラーの専門的知識の段階的、体系的な習得を効率的に推進している。

総合的な評価

ホワイトカラーに係る先端的な職業訓練コースの開発・展開については、適切に実施されており、今後とも産業界のニーズの変化に的確に対応し、訓練コースの開発に反映させていくこととする。

また、職業能力習得制度はホワイトカラー労働者の自発的な職業能力開発に一定の効果があることから、引き続き実施する。なお、現在、講座の認定基準に適合する教育訓練を厚生労働大臣が認定しているが、認定講座も既に社会的に定着していることや能力評価機能の強化に対するニーズが高まっていることから、今後、厚生労働大臣の認定講座は廃止し、専門知識・能力の体系化及び能力評価に特化することにより、一層の活用促進を図ることとする。

評価結果分類

- 1 目標を達成した
- ② 達成に向けて進展があった
- 3 達成に向けて進展がみられない

分析分類

- 1 分析が的確に行われている
- ② 分析がおおむね的確に行われている
- 3 分析があまり的確でない

3. 特記事項

①学識経験を有する者の知見の活用に関する事項

なし

②各種政府決定との関係及び遵守状況

「行政改革の重要方針」（平成17年12月24日閣議決定）

別表5

中央職業能力開発協会（厚生労働省）

○ ビジネスキャリア制度については、専門知識・能力の体系化及び能力評価に特化し、厚生労働大臣の講座認定は廃止する。能力評価試験についても、類似の資格試験の状況を踏まえ整理合理化を図る。

③総務省による行政評価・監視等の状況

なし

④国会による決議等の状況（警告決議、付帯決議等）

なし

⑤会計検査院による指摘

なし